

2020年6月3日

蛍光 X 線分析装置を用いた胸腔内貯留液の元素分析による 海水溺死と淡水溺死の鑑別に関する研究

溺れて亡くなった場合、吸い込んだ水が肺から滲み出して胸腔内に溜まることがよくあります。この胸腔内に溜まった貯留液を分析すると、成分の違いから海で溺れて亡くなったのか、池や川で溺れて亡くなったのか区別できる可能性が高いとされています。本研究では、蛍光X線分析装置という元素の分析を行える機器を用いて、胸腔内の貯留液を測定し、海で溺れて亡くなったのか、あるいは池や川で溺れて亡くなったのか区別できるかどうか検証したいと考えています。この研究は、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得て行っています。

1. この研究の対象となる方：

香川大学医学部にて2014年1月1日から2018年12月31日までの期間に法医解剖を実施した方のうち、死後8日未満で、左右胸腔内貯留液の採取が可能であり、死因が判明した方の年齢・性別・死因・死後経過時間・左右胸腔内貯留液の蛍光 X 線分析の測定結果・発見場所などの資料を対象としています。

2. 対象になった方の不利益と危険性：

研究に用いる資料データは個人名が特定できないようにした上で、厳重に管理しますので、研究の対象になることで、特に不利益が生じることはありません。また、既存の資料からデータを収集しますので、危険性はありません。

この研究について、研究計画や関係する資料、研究対象者に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者の個人情報等や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する研究対象者の個人情報に関しては、お名前、住所など、研究対象者個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者と特定できる個人情報等は利用いたしません。

検討成果は、今後の鑑定・検査の精度向上に寄与することで、社会に還元・貢献していくことができます。ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

3. 本研究に関する連絡・お問い合わせ：

研究責任者 木下博之

香川大学医学部 人間社会環境医学講座 法医学

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

TEL: 087-898-5111 内線 2542

FAX: 087-891-2141